



HSM 通信

HSMニュース

乗船前ブリーフィングの実施 in マニラ。

今回当社スタッフが、乗船予定の乗組員に対する乗船前ブリーフィングをマニラにて実施致しました。近年は、Zoomを利用してリモートにて実施するのが通常でしたが、今回は、対象船舶が今年15歳のBulk Carrierであり、昨年よりRightShip inspectionへの対応が求められている船でもあり、その重要性から、徹底した説明や指示・指導、そして乗組員の十分な理解を得るべく面前にて実施致しました。特に今回は、船員交代後に早速RightShip inspectionの実施が予定されており、十分な理解と適切な対応が求められることから、当社のDPと海務監督の2名を急遽マニラへ派遣しました。

やはり、いつものリモートとは違い、説明や協議も非常にスムーズに進み、乗組員からの質問や意見も活発に出るなど、大変有意義なものであったとの事です。

また、今回マンニング会社のAuditも実施しました。今回のRightShipの件も含め本船の安全運航や規則遵守において、乗組員の習熟、教育・訓練というのは最も重要な要素の一つでもあり、その点も踏まえ、今後の更なる連携強化に繋げるべく改めてマンニング会社と協議を行いました。

もちろんこれらの事はリモートでの実施も可能ではありますが、特に今回の様な重要案件がある時などには、やはりフェーストゥフェースでの実施がより効果的であると感じました。



メンバー紹介

今回は、本年2月より「刈上げ野郎とゆかいな仲間たち」に加わった、経験と人柄で安心感抜群の頼もしいニューフェイスのご紹介です！今回は、本人の趣味に合わせてプロフィールカード風に行ってみました。

Profile



よろしくお祈いします！

橘 友美 (たちばな ともみ)

出身地 岡山県和気郡和気町 *備前市の隣町です

和気町出身の有名人、(お笑い芸人)見取り図のリリーとテレビ朝日の野上慎平アナウンサーはどちらも弟の同級生です。リリーは弟の親友で、しょっちゅう我が家に来ていましたし、いまだに仲良しで、私もタイミングが合えばたまに会います(これは自慢です！)

趣味 推し活、旅行、食べ歩き、現代アート鑑賞、温泉・サウナ(と締めビール)カラオケ etc...

JYP事務所所属Stray Kids(K-POP)推しです！ファンダム名*は"STAY"とって親子でSTAYです。推し友と共にライブにも行ったり、日々SNSやYouTubeで沼を深めています。グッズもかわいいので新しいグッズが出るたびに取捨選択を迫られ、悶絶しています。

旅行も好きで、旅先でおいしいものを探しては大体食べすぎてしまいます。携帯のカメラフォルダは推しと旅先の風景と食べ物でいっぱいです。

*ファンダム...アイドルやアーティストなどの熱烈なファンの集団。横田社長が同じ事務所のTWICEの"ONCE"ですね！



仕事への意気込み 伸びしろしかない！と言い聞かせながら頑張ります！

新しいことばかりでこんな世界があったのだと、とても新鮮な気持ちです。まだまだ知らないことが多く日々勉強なので、コツコツと知識を増やしていきます！

経歴: 大学卒業後、岡山県内の事業者等を支援する公的団体にて勤務。県内各地で、経理業務・総務事務や、地域事業者を支援する業務などを幅広く携わってきました。今後のキャリアを見つめ直していた時、たまたま弊社求人を目が留まり、身近なところにこれまで知らなかった分野の仕事をしている会社があることを知りました。ホームSTAYの経験もあることなどから英語を使う仕事にも興味があり、「面白い会社があるな」と感じ、応募に至ったとのことです。

グループ会社での事業が本格化する中、人員の強化が急務となり、人材の確保に悩んでいたところ、絶妙なタイミングでご応募いただきました。バックオフィス業務を含め幅広い業務経験があり、弊社の業務にも直ぐに順応し、即戦力としてバリバリ活躍いただいております！今後も当社の欠かせない戦力として長くSTAYして頂きたいものです。



このコーナーでは散歩の似合わない男「桑村」がその重い腰ならぬ重い体を上げ、日生やその周辺を散歩！魅力的なスポット・お店などを紹介していきます。

皆さんが日生方面へ出張される際の合間にちょっと寄り道したり、休日にふらっと出かける参考にして頂けるような場所をご案内していきたいと思います！

くわ散歩 第12回:ふわとろ×がっつりの幸福セット！赤穂市「オムチャーハンの店 とんこう」

皆さんこんにちは！くわ散歩では、弊社周辺や近隣等のまだ知られていない穴場やオススメのお店など、様々なスポットを紹介いたします。

今回は、赤穂市内にある、休日のランチどきに定期的に訪れているお店をご紹介します。



今回は日生の隣町、兵庫県赤穂市にある「オムチャーハンの店 とんこう」というお店です。(住所:兵庫県赤穂市新田583-1)。

駅からは約3kmと離れていますが、高速道路赤穂ICを降りてすぐの場所にありますので、意外と便利な場所にあります。

ちょっとカジュアルな感じもあり、入りやすい雰囲気のお店です。



赤穂市内 ← 日生 →
赤穂IC降りた直後の交差点付近です



店名に「オムチャーハンの店」とあるので、最初は「変わったメニューが売りのお店かな」と思ったのですが、、実はこちら、備前市の隣、和気町にある「中華料理 とんこう」が本店の本格中華のお店なんです(だから一品一品丁寧で美味しいのか、と後から納得しました)。まず最初に水餃子を注文。水餃子のあるお店に出会うとなんか嬉しくなりますよね。水餃子は皮もモチモチ、餡もジューシーでツルツと食べられます。



こちらのお店では、もちろん単品メニューもありますが、セットメニューが充実しており、誘惑が多いのです。

この日もまんまと誘惑には勝てず、「オムチャーハン+1/2ラーメンセット(エビマヨ追加)を注文してしまいました。

早速運ばれてくると・・・ボリューム満点です！



見てください！このエビマヨの乗ったオムチャーハン！ふわっとしてとろとろな玉子がチャーハンを包み込んでいて、上からは餡とマヨネーズ、そしてエビマヨ！

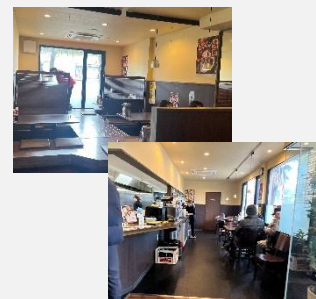
ボリューム感があってガツンと食べるメニューに見えますが、実はくどさはなく、うまみと共に丁寧さも感じられる、実は繊細なメニューなんです。一口目から箸(レンゲ)が止まりません！



そしてサイドメニューも侮れません。写真は「鳥の地獄炒め」。見た目はまさに“地獄の辛さ！”という感じですが、食べてみるとそこまで辛すぎる訳では無く、辛みと旨味のバランスが絶妙。

この日はランチで訪問で、私は車の運転がありましたのでお酒は飲んでいませんが、鳥の地獄炒めをキンキンに冷えたビールで流し込んだら・・・優勝間違いなし！(何の優勝かはさておき、最高です)

※お酒は同乗者のものです



席は小上がり・テーブル席、カウンター席と多種多様。一人でも気軽に入れるお店です



実は侮れないのがこの醤油ラーメン。シンプルな見た目ながらスープを一口飲めばつい「・・・うまっ」と声が出てしまいます。こちらも丁寧さが光ります



Newオム坦々セット
こちらも誘惑が凄いです・・・



※同乗者の方です
メインのメニューが来る前に
ビールがなくなっていますね・・・

がっつり食べたい日はもちろん、本格中華を気軽にリーズナブルに食べたいときにも良いお店です。ご家族での外食や気軽なランチにも良いかもしれません。悩ましいのは、ついオムチャーハンが食べたくなるので、他のメニューになかなか挑戦出来ないところでしょうか。夜にはコースメニューや飲み放題プランもあるようなので、そのうちチャレンジしてみたいと思います。

それでは、次回の「くわ散歩」でまたお会いしましょう！

オムにもチャーハンにも
浮気せず済む、
素晴らしいメニューだよ・・・





ピックアップ!

ここでは、私共が目にして気になった記事やニュース等を紹介させていただきます。
海運に関する事や海運に関係なくても興味がわく様な内容の物を色々紹介していきたいと思ます!

こんにちは!

今回も目にとまった面白い記事をピックアップしてみました。

ちょっと前の記事ですが、ビジネスにおいても参考になる共感出来る話でした。

皆さんはどの様に感じるでしょうか???

トランプ大統領とゼレンスキー大統領の会談から学ぶこと

■「正義」と「正解」は違う

結構色んなところでこの様な正義とか正論とか正解とかの話は見た事があるような気がしますが、今回の話は割とすんなりと腑に落ちたので、紹介したいと思います。

ゼレンスキー大統領とトランプ大統領の口論が物議を醸しております。

外交の場で、あのような感情的な舌戦が展開されることはなかなか無いとは思いますが、まあ、あそこに至るまでには僕らの知りえないバックストーリーがあり(とくにゼレンスキー)、それが大声に繋がったことは想像に難くありません。

切り取られた動画を観たかぎりだと、「正義」を主張していたゼレンスキー大統領と、アメリカの取り分をチラつかせながら問題を片付けることを主張していたトランプ陣営…という風に僕には映ったのですが、今回の会談に限らず、議論する際に、「正義カード」をテーブルに出す人と、「おとしどころカード」(最大公約数)をテーブルに出す人がいて、「お前が正しいことは分かっているけれど、今、お前の正義を主張したところで話は前に進まないだろう?」という衝突が起きている現場をよく見ます。

お仕事というものは算数や道徳じゃないので、「正義と正解は違う」という場面がよくあるわけですが、ただ、考えてみたら、子供の頃から僕らは「正義 = 正解」の教育しか受けてこなかったように思います。

たとえば「イジメやめよう!」という正義はよく耳にしたのですが、「『イジメやめよう』という正義だけでは、結局イジメが世の中から無くなっていないのだから、イジメの止め方の正解は別にあるんじゃないか? さあ、皆で考えよう」という授業と違って無かったじゃないですか?

ビジネスシーンで必要な筋肉は、そういった「正解を探す訓練」で養われるわけですが、そういった訓練をする場がないまま社会人になった大人達が、ひたすら自分の正義を主張し続けて、壁にぶち当たっている。

「カードを持っていない側」の戦い方

「交渉の話」に話を戻すと、やっぱり「自分の手札と相手の手札を机に並べること」が一步目で、相手の手札の方が強かったら、まずは衝突を避けて、相手の言い分を受け入れて、その中で「変数(交渉次第で少しでも条件を上げられる場所)」を探して、そこを狙い打つしかない。

今回の会談の両者の言い分の是非はさておき、トランプさんが仕切りに言っていた「キミはカードを持っていない」という言葉は、交渉の本質をついていて、カードを持っていない側は「カードを持っていない側の戦い方」をしないといけないなあと、あらためて思いました。

ビジネスの世界においても、過去を振り返ってみると、その時の自分の主張自体は正しかったかもしれないけれど、あの場面で自らの主張を押し通したところで状況は変わらないのだから、その時は「正しさを主張すること」ではなく、限られた条件の中で相手にとっても受け入れられる「正解」を探し、そのカードを切ることだったと思うことがあります。

次ページへ続く

「正義」に気を取られるあまり、「正解」を見失ってしまう…ということはよくあることなので、気をつけていきたいです。

という事で皆さん如何でしたでしょうか？

ちょっとドキッとしませんでしたか？

私もビジネスの世界の端っこでひっそりと商売をしている人間として、常にその時その時その状況で「正解」を求めて対応や判断をしてきたと思っておりますが、もしかしたらただ自分の正義を振りかざしていただけかもしれません。

ビジネスの場においても人間関係においても

正義だけを振り翳してもダメですよ。

正義を振り翳したところで相手からは「うるせえな」と思われるだけかもしれません。

やはり、ビジネスも人間関係も正解を探していくことが大事であると改めて感じました。

自分と相手との最大公約数を探すこと。こんな感じでどうっすか？という落とし所を探すこと。

正義や正論は振り翳している側は気づかない。振り翳せば翳すほど、人が離れてしまう。。。

うーん、でもやっぱり正論を言いたいし、自分の正義も振りかざしたくなりますよね…

自分が正しいと思ってることやりたいっすよねー

という事で、分かっているけどまだまだ、まともな経営者？ まととなビジネスマン？ まともな大人？ になりきれないメタボ刈り上げ伊達メガネ野郎です…

正義や正論を振り翳すだけでなく、相手と一緒に正解を探せる人でありたいものです。

皆さんはいかがでしょう？

今さら聞けない

海運基礎知識 「SI (Superintendent) について」

今回は、「SI (Superintendent)」について取り上げてみたいと思います。

SIは船舶管理の中心的な業務を担い、管理会社の顔となる非常に重要な職種であります。

皆さまもあらゆる場面でSIの方々と関わっていることと思います。

正に”今さら”ながらですが、このSIという職について触れてみたいと思います。

「SI (Superintendent)」って何？

- SI (Superintendent) は、「監督」の事であり、主に「工務監督」のことを指します。もちろん工務監督以外にも海務監督や安全監督などの「監督」もありますが、ここでは「工務監督」について触れていきたいと思います。
- 工務監督は、船が安全且つ効率的に運航できる様に総合的に管理する陸上の管理者です。
- 工務監督は、“工務”といいながらも、決して機関関係などの技術的な業務だけでなく、関連するあらゆる事を考慮し様々な事に対応して船の安全運航を維持しなくてはならず、その船のあらゆる事に精通した統轄管理者の役割を担っております。
- もちろん各会社によって、工務監督の業務範囲や責任範囲は様々であると思いますし、IT化も進んでいる中、規模の大きな会社ですと社内での分業化も進んでいる場合もありますので一概には言えませんが、元々のイメージだと、やはりその船の担当SIがその船の統轄責任者であり、その船のあらゆることを把握、管理しているという認識です。(ちょっと感覚が古いですかね…)

「SI (Superintendent)」の仕事内容は？

「工務監督」の仕事は非常に多岐に渡り、全てのことを詳細にご説明するのは難しいので、一部業務のみ列記させていただきます。

次頁へ続く

- ・船体や機関の整備計画の立案、保守管理
- ・海図、潤滑油、部品や必要な修繕、薬品、塗料および文房具や生活用品等の一般消耗品の手配
- ・上記手配品の発注管理、納品確認、請求書確認、価格交渉や協定
- ・船級や旗国、その他各種検査の準備、申請、立会い、検査記録や証書の確認等々の検査関連業務
- ・PSC検査に関わる各種対応
- ・船体や機器の故障、各種トラブル対応
- ・海難事故に関わる各種対応
- ・ISMに関する各種業務
- ・船舶への訪船業務
- ・乗組員の指導、教育
- ・修繕ドック入渠工事に関わる各種準備、手配、工事立ち合い、交渉、等々
- ・新造船に関わる各種業務
- ・予算の立案、予実績管理

担当する船の状況を常に確認・把握し、船のスケジュールも加味しながら上記の様な必要な対応を行います。

「SI (Superintendent)」にはどうやってなるの？

- ・工務監督になる為の公的な資格などはありませんので、その会社で監督として任命され監督の業務を担当すれば監督となれますが、前述した様な業務を遂行するだけの知見が必要となります。
- ・機器に関する技術的な知識に加え、法規や保険、航海や運航関係に関する知識も必要になりますし、予算管理・コスト管理も重要な業務であり、数字の把握や管理も出来ないといけません。又、英語力やパソコンの能力、外部との交渉力や営業的なセンス、トラブル等の時の判断力や対応力、等々様々な能力が求められます。
- ・一般的に工務監督は、機関長や一等機関士などを経験した後、陸上に上がって監督になるケースが多くあります。
- ・船員から監督になるというのが昔から一般的な流れではありますが、必ずしも良い機関長や機関士が良い工務監督になるとは限りません。前述した様に、機関関係の知識や経験だけでなく非常に幅広い能力が求められますので、機関士としての経験があるというだけでは中々務まりません。(もちろん機関長や機関士としての経験があるのはとても重要な要素です)
- ・近年日本においては、船員の数自体が減少してきている為、当然監督になる数も減少しており、業界全体において監督の確保や育成は重要な課題となっております。
- ・一方世界においては、インド人監督やフィリピン人監督などが多くいる事から、日本においてもフィリピン人監督などの外国人獲得が非常に増えてきております。
- ・従来、船員から監督になるという流れが当たり前でしたが、それとは違う経歴から監督になるというケースも出てきておりますし、今後は、最初から監督を目指し監督になる為の知識の習得や経験を積んでいくという流れも広がっていくと良いと思います。(そうしないと将来は、日本から管理会社が無くなるか全員外国人監督になるか、という状況になりそうですよね...)

以上、非常に簡単ではありましたが、「SI (Superintendent)」(工務監督)について説明させて頂きました。

上記の通り、SIの業務は非常に多岐に渡り、求められる知識や能力、経験等はとても幅広いものであり、船舶管理において大変重要な職であります。日本においてはその監督不足が大きな問題となっており、将来に向けた監督の育成は喫緊の課題となっております。監督という船舶管理の中心となる非常に重要な職種をひとつの職種としてしっかりと確立させる必要があると感じております。

船の設備や構造、条約や各種規制、乗組員の国籍やレベル、技術の進化・発展、等々取り巻く環境が日々大きく変化していく中、求められる監督の能力・監督像も変わってきていると思います。その様な中、高い能力を持った多くの日本人監督が育ち、そして世界を相手に活躍できる様、大変微力ではありますが、現在抱える問題・課題に向き合っていきたいと思っております！「監督」については、まだまだ奥が深く書きたい事もたくさんあるのですが、また次の機会とさせていただきます。

以上